

「あたしの知らない水のこと」

会津若松市立鶴城小学校 三年 田村 自

あたしはきょ年、お父さんと同じ年れいの
おうちにひっこしました。そこは水道水のし
るいが二つあるとお父さんから言われました。
一つは水道きょくの水をかんから来る水道水
と地下から来る井戸水です。あたしはふしぎ
に思いました。あたしのおいちゃんのとこ
ろにある地下水にはじか口がついていなか
たからです。おじいちゃんの家では、つつか

ら水が何もしなくてモナカれていました。お
いちゃん村では地下水をためるところを
どんこせと言って一家でいに一つあり、やさ
いをあらたり、やさいのなえに水をかけた
りするのに使ったりするそうです。ながれた
水はどこへ行くのと聞いたらまた地下へもど
ると言っていました。けれど、あたしの家の
地下水はじか口をとおると外にあるきょいが
ゴワンゴワンゴワンと音を立てて、水が出て
せんめんたいのつつかながれて行きます。

「地下水の水道はお金がかからないよ。」
と、お父さんが言いました。

「お金のかかる水道とからない水道があるの。」

あたしが、ふしぎに思っている、今どはお母さんが言いきました。

「けど、下水道りゃう金がかかるよ。」

わたしは、ますますあからなくなりました。

「水道りゃう金と下水道りゃう金は、べつなんだよ。だから、どちらのお水も大切にね。」

SDGsでもあるからね。」

「下水道」と言う言葉を聞いてわたしは思い出し
ました。お母さんが神だなとふつたんに、下
水かんに落ちた人がたすかりますようにと、
おいのりしていました。二ユースで下水かん
が、これとて通りにあなが空いて、通りが通
れなくなったり、周りのおうちでは使うのが
女いけんさんされていると言っていました。その
テレビじうつていた下水かんはトネルの上
うに大きかったです。人もお人たんに入って

しまうような大きさに、わたしはまたふしぎに思いました。前に市の水道きよくのイベントに行くと、水道さんのこうさんの大切さについて教わった時のつっは、子どもも通るのがむずかしいほどの大きさしか見なかつたので、下水さんの大きさのちがいにびっくりしました。お母さんに調べてもらったら、水道さんと下水さんはちがうおたくしよさんがりしていることを知りました。イベントや本で、水のいろいろなことも知っているつもりでい

ましたが、水の大切さやイベントの生活の問題点など、まだまだわたしの知らないことかたくさんある人たと言うことが分かりました。これからも、水についてべん強していきたいです。